

◎株式会社クラーチ
介護付有料老人ホーム クラーチ・ファミリア佐倉

リゾートホテルを連想させる空間と アットホームな関係を実現

白いタイルの床や吹き抜けの天井、ピアノや大きな造木などによりリゾートホテルを思わせるロビーが印象的な介護付有料老人ホームクラーチ・ファミリア佐倉。入居者やその家族に「入居」を誇りに思ってもらうため、細部にまでデザインにこだわった。

撮影：関口宏紀



リゾートホテルのような空間にこだわった、開放的なロビー



施設DATA



- 所在地：千葉県佐倉市上座 567-1-2
- 電話：043-460-7550
- 類型：介護付有料老人ホーム
- 建築構造：鉄骨造地上3階
- 延床面積：2885.99㎡



福井光彦ホーム長



F 入居者や家族の憩い場となっているクラーチカフェ B プックラウンジには、本はもちろん入居者の作品も展示 C 家族用のゲストルーム D 癒しの時間を提供している足湯 E 受付には、リビング・オブ・ザ・イヤー2015で獲得した優秀賞の盾も飾られている F 近隣住民に農園の一部を提供。1年中植物が植えてある G アクティビティの一環として、陶芸窯を活用した作品づくりを行っている



感が出てしまうため、個々の机をパーテーションで囲うようにした。機能面にもこだわり、受付の内側からのみ見える場所に館内モニターを設置。家族が来たときに、入居者がどこにいるのかをすぐに伝えられるようにしている。

ソフト面は「ホスピタリティ」に主眼を置き、入居者やその家族とアットホームな関係を築くように心がけている。その一環として1階には「クラーチカフェ」と名づけたスペースを用意し、通常は朝夕の入居者の食事の場として使用。それ以外の時間はカフェスペースとして無料でコーヒーなどを提供し、入居者・家族・職員のコミュニケーションの場として活用し、家族が職員に入居者の最近の様子を尋ねる際などにも使われている。カフェカウンター内の床は30cm低くつくられており、目の前に座った入居者と同じ目線になるようにしている。カウンターの天板の縁にはひじが滑り落ちないように溝を設けるなどの工夫を凝らしている。「こうした工夫もホスピタリティを感じてもらうためで、建築会社に任せずに自分たちで一つひとつ選びました」と福井ホーム長は語る。

株式会社クラーチは、「家族が訪れたいホーム」をめざしており、2014年に開設した同社の介護付有料老人ホームクラーチ・ファミリア佐倉は、その実現のために「ホスピタリティリゾート」をテーマに掲げている。福井光彦ホーム長は、「有料老人ホームへの入居をすすめることに、ご家族は少なからず罪悪感を持っています。当ホームでは、ご家族にも入居者自身にも入居したことを誇りに思ってもらえるように工夫しています」と話す。

ハード面においては、リゾートホテルのような空間づくりを力を入れた。たとえば、ロビーのデザインには白いタイルの床や吹き抜けの天井を採用し、大きな造木やピアノを飾ることでリゾート感を演出した。

こうした雰囲気壊さないように、事務室にも工夫を施している。事務室は受付の奥にあるが、受付とつながっており、来訪者から見えてしまう。机の上の置かれたパソコンや書類などが目に入ると、生活